



甲佐町長
奥名 克美

創生を見据えた復興を復幸へ 次世代へ残す輝く郷づくり

今回の町長選挙（7月30日告示）におきましては、4期目当選の栄をいただき、ここに改めて町民の皆様へ心からの感謝を申し上げます。

2期連続の無投票当選となりましたが、この背景には「熊本地震そして豪雨災害からの完全復旧と創造的復興を最後まで責任を持ってやり遂げよ」との町民の皆様への思いを感じずにはいられません。そうした思いを真摯に受け止めながら、初心を忘れず引き続き町政発展に努めてまいります。

さて12年前の初当選から今日に至るまで一貫して、「甲佐町の再生と町政の安定」を政治信条として町政運営に携わってまいりました、おかげさまで、そうし

た町の姿勢が国や県との強い信頼関係にもつながり、その結果として従前からの多くの町の課題や懸案事項を解決に導くことができた例も少なくないと考えます。

そういう中で前期の3期目は、いよいよ地方創生に向けた総合戦略に基づく各施策を現実に進めようとしていたわけですが、その矢先の出来事が、かつて経験したことのない熊本地震であり、その後の豪雨災害でありました。したがって総合戦略の各事業は一旦延伸してでも、先ずは震災からの復旧をいかにして早く進めるかということに全精力を費やした4年間であったように思います。

震災発生後、最大で1,800人の住民の方々が指定避難所での生活を余儀な

くされる中で、震災直後の初動対応から今日までのさまざまな災害対応業務について、過度の混乱もなく実施できたのも、町民の皆様や議員各位のご理解とご協力のもとより町内外の多くの関係機関のご支援のたまものであり、職員一同感謝に絶えないところでです。

現在は、災害復旧工事も80割以上が完成し、また災害公営住宅も52戸全てが完成して入居も整ったところでありますが、まだ28世帯については仮設住宅での不自由な生活が続いている現状にも鑑み、しっかりとした対応を今後も継続していきたいと考えます。

そして、いよいよ今年度からは復旧期から復興期へとシフトしていく年度となります。震災により延伸してきた総合戦略の各事業について、今後は復興のシンボルとして推進を図ってまいります。

その1つが役場東側に整備する「住まいの復興拠点施設」です。ここには災害公営住宅と子育て支援住宅を併設し、その中間エリアには防災公園を整備し年内での完成を見込んでいます。

2つ目は、田口橋の改修です。昭和の時代からの懸案事項であった田口橋の改修がこの8月に完成し、先日無事開通式も開催させていただきました。今後は県との協議を重ね、緑川右岸側の平面交差点改良に繋げながら沿線の開発にも弾みをつけたいと考えています。

3つ目は、安津橋総合運動公園の整備です。今年度ナイター設備を有するサッカー場2面が間もなく完成し、この秋には一部が供用開始となりますが、テニス

コート、野球場など残りのスポーツ施設についても今期4年間のうちすべてを完成させたいと考えています。

これら3つの事業は震災からの創造的復興のシンボルとして早期完成を目指してまいります。それらの事業も含めて今回も①活力にあふれるまちづくり、②安心・安全なまちづくり、③健康と人を育むまちづくり、④協働で支えるまちづくり、以上の4本のまちづくり政策の柱の下に具体的施策として「創生・復興から復幸へ・次世代へ残す輝く郷づくり」をキーワードに34項目の政策目標を掲げました。

これらの目標には、議員各位からごいただいた施策や町職員からの政策提案なども数多く含まれています。今後はそれらの目標の実現に向けてなお一層努力しながら、諸施策の実現に全力を尽くしてまいります。

そして何よりも震災から1日も早い「完全復旧」を果たし、「創生を見据えた復興」を確実に実行しながら、震災前以上に甲佐町に住み続けることの「幸福感」を感じていただけるようなまちづくりに使命感を持って取り組む覚悟です。

改めて再度4年間、町政を担うという責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いで一杯であります。町民の皆様から寄せられた期待に応えるべく、引き続き強い信念と情熱をもって町政運営に臨んでまいります。町民の皆様には引き続きのご指導とご協力をお願い申し上げます。4期目就任のご挨拶とさせていただきます。

次世代へ残す輝く郷づくり ～34項目の政策目標～

活力にあふれるまちづくり

- ①震災復興計画に掲げた復旧事業の完遂と創造的復興の早期実現
- ②広域的道路ネットワーク構築による土地利用の活性化（特に田口橋については架替後の創造的復興として平面交差改良を実施し沿線地域の開発へ。町道は道路整備5ヶ年計画により計画的に整備）
- ③安津橋総合運動公園（仮称）の整備による健康づくりの推進と交流人口増へ（令和4年度完成をめざす）
- ④企業誘致の受皿づくり（工業団地の開発と民地データベース化）と若者の定住、雇用拡大に向けた企業誘致の推進
- ⑤地元購買力強化に向けた各種施策の実施
- ⑥中山間整備事業（第3期）による農業基盤の整備推進
- ⑦農業振興に向けた各種支援の拡充
- ⑧新たな定住促進に向けた「空き家」の活用と指定管理者制度を活用した体験交流施設の運営（西村資料館等）
- ⑨県内スポーツチームとの連携による町の活性化

安心・安全なまちづくり

- ①国土強靱化地域計画策定と防災・減災（内水対策等）各種施策の実現
- ②住まいの復興拠点施設の整備（防災公園）
- ③自主防災組織率100%化と併せて防災士配置のための支援
- ④防犯灯整備5ヶ年計画に沿った計画的整備
- ⑤小型合併浄化槽普及率向上（5年後の普及率を75%）に向けた新たな公費支援（放流ポンプ等）
- ⑥新総合ハザードマップ（L2）の作成と活用・指定避難所の拡充に向けた施設の改善（宮内地区）
- ⑦災害に強い住民への情報伝達・共有システムの構築
- ⑧消防団員確保へ各種施策の拡充
- ⑨龍野地区（六谷）水道施設改修・宮内地区（小鹿・入江）の水道整備と併せた水道問題の完全解決並びに災害を想定した近隣水道事業自治体との連携

健康と人を育むまちづくり

- ①不登校ゼロに向けた施策の継続と道德教育・郷土愛の育成
- ②学力向上対策としてICT機器の拡充（タブレット端末1人1台利用）と特別教室への電子黒板の配備
- ③甲佐高校の「魅力化」に向けた支援の継続
- ④子ども医療費助成等子育て支援の継続と新たな支援検討（不妊治療等の助成・子育て世帯の新築住宅固定資産税の減免等）・子育て支援住宅建設
- ⑤人権のまちづくりの一層の推進
- ⑥エキスパート人材派遣等によるスポーツ振興・英語力向上・部活動充実
- ⑦健康づくりプログラムの構築と介護予防の推進・健診率向上への新たな施策の検討
- ⑧災害公営住宅入居者等（高齢者等）の地域コミュニティ形成支援
- ⑨運転免許証返納者等の高齢者等に対する交通手段利用への支援の検討

協働で支えるまちづくり

- ①ふるさと甲佐応援寄附金増に向けた返礼品の充実
- ②環境衛生施設の広域化の推進
- ③町有地や遊休資産の積極的な有効活用（企業誘致・住宅用地）
- ④元気で健康な職員の育成と資質向上（各種研修・人事交流の充実）
- ⑤税・料金等の徴収率向上への更なる取り組み
- ⑥「陣ノ内館」の国指定重要文化財に向けての取り組みと関連事業の検討
- ⑦指定管理者制度による施設運営の拡充（運動公園・キャンプ場他）